

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号  
特開2001-238032  
(P2001-238032A)

(43) 公開日 平成13年8月31日 (2001.8.31)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テ-マ-ド <sup>7</sup> (参考)
H 0 4 N 1/00	1 0 7	H 0 4 N 1/00	1 0 7 Z 5 C 0 6 2
H 0 4 B 7/26		7/173	6 2 0 D 5 C 0 6 4
H 0 4 N 7/173	6 2 0	H 0 4 B 7/26	M 5 K 0 6 7

審査請求 未請求 請求項の数6 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号 特願2000-43635(P2000-43635)

(22) 出願日 平成12年2月21日 (2000.2.21)

(71) 出願人 000132471

株式会社セガ

東京都大田区羽田1丁目2番12号

(72) 発明者 山本 茂喜

東京都大田区羽田1丁目2番12号 株式会

社セガ・エンタープライゼス内

(72) 発明者 渡邊 栄一郎

東京都大田区羽田1丁目2番12号 株式会

社セガ・エンタープライゼス内

(74) 代理人 100094514

弁理士 林 恒徳 (外1名)

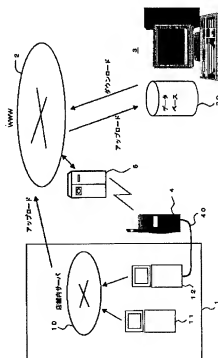
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 移動端末の画像表示システム

(57) 【要約】

【課題】 移動端末に、画像撮影装置で撮像された画像を表示可能とする画像表示システムを提供する。

【解決手段】 画像撮影装置と、前記画像撮影装置とインターネットを通して接続される前記画像撮影装置により撮像された画像を格納するデータサーバと、前記画像撮影装置により撮像された画像又は、前記データサーバに格納された画像を表示する表示部を備えた移動端末を有して構成される。



## 【特許請求の範囲】

## 【請求項1】画像撮影装置と、

該画像撮影装置とインターネットを通して接続される前記画像撮影装置により撮像された画像を格納するデータサーバと、

前記画像撮影装置により撮像された画像又は、該データサーバに格納された画像を表示する表示部を備えた移動端末を有して構成される移動端末の画像表示システム。

【請求項2】請求項1において、さらに前記移動端末と無線回線を通して接続され、前記移動端末を前記インターネットに接続するプロバイダを有することを特徴とする移動端末の画像表示システム。

【請求項3】請求項1において、前記データサーバへの前記画像撮影装置により撮像された画像の転送を該画像撮影装置を管理するサーバにより行うことを特徴とする画像表示システム。

【請求項4】請求項3において、前記データサーバへの前記画像撮影装置により撮像された画像の転送は、該画像に関連する前記移動端末のメールアドレスを付して行うことを特徴とする画像表示システム。

【請求項5】請求項4において、前記移動端末のメールアドレスは、前記画像撮影装置により画像の撮影時に読み込まれることを特徴とする画像表示システム。

【請求項6】請求項5において、前記データサーバに格納した画像を前記移動端末のメールアドレスにより読み出し可能とされることを特徴とする画像表示システム。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、携帯電話等の移動端末に画像撮影装置で撮像された画像を表示するシステムに関する。

## 【0002】

【従来の技術】遊戯施設等に画像撮影装置が配置され、撮像された写真をシール状にして出力する画像撮影装置が広く普及している。かかる画像撮影装置では、あらかじめ用意された複数のフレーム画像から遊戯者が任意のフレーム画像を選択し、これに自己の撮影画像を重ねた画像を出力することができる。

【0003】一方、携帯電話が広く普及し、若年層では一人一台の割合で携帯している状況となっている。かかる状況から携帯電話の表示画面も個性化が要求されている。さらに、近年では携帯電話からインターネットにアクセス可能とするようなサービスプロバイダも現れている。

## 【0004】

【発明が解決しようとする課題】したがって、本発明の目的はかかる状況に鑑みて、画像撮影装置と携帯電話等

の移動端末を融合させたシステムを提供することにある。

【0005】特に、本発明の目的は移動端末に、画像撮影装置で撮像された画像を表示可能とする画像表示システムを提供することにある。

## 【0006】

【課題を達成するための手段】上記の本発明の目的を達成する移動端末の画像表示システムは、画像撮影装置と、この画像撮影装置とインターネットを通して接続される前記画像撮影装置により撮像された画像を格納するデータサーバと、前記画像撮影装置により撮像された画像又は、前記データサーバに格納された画像を表示する表示部を備えた移動端末を有して構成される。

【0007】好ましい一態様として、さらに前記移動端末と無線回線を通して接続され、前記移動端末を前記インターネットに接続するプロバイダを有することを特徴とする。

【0008】また、好ましい一態様として、前記データサーバへの前記画像撮影装置により撮像された画像の転送を前記画像撮影装置を管理するサーバにより定期的に行うことを特徴とする。

【0009】さらにまた、好ましい一態様として、前記データサーバへの前記画像撮影装置により撮像された画像の転送は、前記画像に関連する前記移動端末のアクセスコードを付して行うことを特徴とする。

【0010】さらに、好ましい一態様として、前記移動端末のアクセスコードは、前記画像撮影装置により画像の撮影時に読み込まれることを特徴とする。

【0011】また、好ましい一態様として、前記データサーバに格納した画像を前記移動端末のアクセスコードにより読み出し可能とされることを特徴とする。

【0012】本発明の更なる特徴は、以下の図面を参照して説明される発明の実施の形態から明らかになる。

## 【0013】

【発明の実施の形態】以下図面を参照して本発明の実施の形態を説明する。なお、図において、同一又は類似のものには、同一の参照番号又は参照記号を付して説明する。

【0014】図1は、本発明に従う移動端末の画像表示システムの概念を示す図である。

【0015】遊戯施設1には、複数の画像撮影装置11、12が備えられている。複数の画像撮影装置11、12は店舗内のサーバ10に接続されている。インターネット2には、店舗内のサーバ10、データサーバ3及び携帯電話等の移動端末4と無線回線により接続され、移動端末4をインターネット2に接続するサービスプロバイダ5が接続される。

【0016】遊戯者は移動端末4を画像撮影装置11、12にコネクタ40を用いて接続する。画像撮影装置11、12には、カメラが内蔵され遊戯者の画像を撮像す

## 3

る。撮像された画像データはデジタル化されている。したがって、この画像データを印刷して出力する。あるいは、移動端末 4 に転送する。さらに、店舗内サーバ 10 に転送し、これを経由してデータサーバ 3 に転送し、格納することが可能である。かかる実施例態様については、後に詳細に説明する。

【0017】図 2 は、遊戯施設 1 内に備えられる画像撮影装置 11、12 の外観構成例を示す図である。装置本体上部には、宣伝表示部 20 がある。本体部中央部には、正面にカメラ 21 が備えられ、カメラ 21 で撮像される画像が表示される表示部であるモニタ 22 が備えられている。さらに、本体下部には、音声案内を行うスピーカ 23、コイン投入口 24 及び撮影済みシール吐き出し口 25 を有する。また、本体上部にはフラッシュ照明ランプ 26 が備えられている。

【0018】さらに、本発明の特徴として携帯電話等の移動端末が挿入され、電氣的に接続するコネクタ部 27 を有する。

【0019】かかる外観構成の画像撮影装置 11、12 の内部構成ブロック図が図 3 に示される。中心機能として制御手段である CPU 100 を有する。記憶部 103 に格納される制御プログラムを CPU 100 により実行することにより装置全体が制御される。

【0020】スピーカ 23 には、音声処理部 231 を通して音声案内が表示される。カメラ 21 により撮像され、生成される撮像画像信号は、画像入力部 211 に入力される。画像処理部 221 は、画像入力部 211 に入力される撮像画像信号と CPU 100 により供給されるフレーム画像信号とを合成し、表示部 22 に表示する制御を行う。

【0021】また、画像処理部 221 により合成され、確定された画像信号は CPU 100 及び、1/〇インテーフース 100 を通じてシール印刷部 105 あるいは、コネクタ 27 に送られる。あるいは、後に説明するアクセスコードと一体で、ネットワークへ接続インタフェース機能を有するサーバアクセス部 104 を通じて店舗内サーバ 10 に転送される。

【0022】図 3 において、シール印刷部 105 により印刷されたシールはシールベンダー部 251 の吐き出し機構により吐き出し口 25 に排出される。また、図 2 の装置において、モニタ 22 の表面に形成されたタッチパネルにより入力部 221 が形成される。

【0023】図 4 は、上記システムにおける本発明の第一の実施例動作を説明するフロー図である。画像撮影装置 11、12 にコイン投入口 24 から所定金額のコインが投入されると、これをコイン検出部 241 が検知する（ステップ S1）。

【0024】コインが投入されると画像撮影装置 11、12 のモニタ 22 にサービスモード選択メニューが表示される。ここでの選択メニューは、シール印刷のみの選

## 4

択あるいは、データサーバ 3 に対するユーザ登録の選択が可能である（ステップ S2）。

【0025】シール印刷のみのメニューが選択される場合は、画像撮影装置 11、12 における従来のシール印刷のみが可能となる。図 4 において、シール印刷の通常受付が行われる（ステップ S3）。シール印刷の通常受付が行われると直ちに撮影処理が行われる（ステップ S4）。この撮影処理においては、複数のフレーム画像がネイル画像でモニタ 22 に表示される。このうち遊戯者の好みのフレーム画像位置をタッチパネルで選択指示する。

【0026】次いでモニタ 22 には選択されたフレーム画像が表示され、カメラ 21 で撮像された遊戯者の像がフレーム画像内に合成表示される。遊戯者は合成画像を確認し、タッチパネルの OK ボタンを押下すると、フラッシュ照明ランプ 26 が点灯して撮影が行われる（ステップ S4）。

【0027】撮影が終わると、シール印刷部 105 で撮影画像が印刷され、シールベンダー部 251 によりシール吐き出し口 25 にシールが排出される（ステップ S5）。

【0028】一方、ステップ S2 において、ユーザ登録が選択されると、データサーバ 3 に対して、ユーザ登録が可能になる（ステップ S6）。ユーザ登録作業として、まずサーバ登録を行う（ステップ S60）。このサーバ登録は、データサーバ 3 において、自己画像データを保存する領域を確保する期間、例えば 1 ヶ月の期間を指示入力する。

【0029】さらに、サーバ登録の一部として ID が登録される。この ID は、後にデータサーバ 3 から通知される、データベース 30 内の URL で指定されるページにアクセスする際に必要な ID である。該当のページの入力画面でこの ID と次に説明するパスワードの入力が要求される。

【0030】そして、ID は全国において、ユニークな識別番号又は記号である必要である。その決め方の一例として、例えば、遊戯施設 1 の店舗 No.、日時等に基づき生成される。あるいは、ネットワーク上のデータサーバ 3 にアクセスし、サーバ 3 で割り振られるユニークな番号としてもよい。

【0031】ついで、データサーバ 3 へのアクセスの際に使用する自己のパスワードを登録する（ステップ S61）。上記 ID とパスワードは確認のために遊戯者に印字出力される。

【0032】この後、シール印刷通常受付と同様に撮影が行われる（ステップ S4）。この撮影された画像データと先にステップ S6 で登録したサーバ登録（ステップ S60）及びパスワード登録（ステップ S61）の内容を画像撮影装置 11、12 のサーバアクセス部 104 により FTP (File Transfer Protocol) に従うフォーマ

ットでデータサーバ3に画像撮影装置11、12のURL (Uniform ResourceLocator) を転送し、同時に遊戯者のメールアドレスを登録する (ステップS7)。かかる作業によりデータサーバ3へのアップロードが完了する (ステップS8)。

【0033】なお、上記ステップS7の関連として、遊戯者は自己の登録する画像データを友人等に送りたい場合は、該当の任意のメールアドレスを登録することも可能である (ステップS70)。そして、この登録された任意のメールアドレスは、上記ユーザ登録の内容に付随してデータサーバ3に送られる。

【0034】ここで、移動端末4のメールアドレスは、例えば移動端末4固有の電番とサービスプロバイダ5のURLで構成できる。例えば、移動端末4固有の電番が、09012345678であり、サービスプロバイダ5のURLがdoitsu.com であると、移動端末4のメールアドレスは、09012345678@doitsu.com で表される。

【0035】遊戯者には、この時確認のために登録したURL、メールアドレスがレシートに印字され出力される。

【0036】一方、データサーバ3は、データベース30の画像指定領域にアップロードされた画像を遊戯者のメールアドレスに対応に格納する。さらに、画像が格納されたURLを遊戯者のメールアドレス先に転送する (ステップS9)。この時、上記ステップS70で任意のメールアドレスが登録されている場合は、データサーバ3は、画像が格納されたURLを該当のメールアドレス先にも通知する。

【0037】ここで、上記データサーバ3に格納される撮影画像の一例を図5に示す。この画像は画像データとして、ケーブル40を通して移動端末4で直接受け取ることが可能である。したがって、移動端末4には図6に示すように、モニタ領域42に撮像画像41を表示することができ。

【0038】したがって、移動端末4の待ち受け状態において、モニタ領域42に自己の肖像画像を表示することができるので、他人の持つ移動端末に対し差別化された形態とすることが可能である。

【0039】あるいは、先にステップS9において、データサーバ3の画像の格納URLがメールアドレス先に転送されているので、友人等はこのURLを教えることにより、第三者からも撮像画像をアクセスすることが可能である。

【0040】図7は、更に別の本発明に従う実施例動作フロー図である。この実施例では、モード選択 (図4：ステップS2) を移動端末4がコネクタ27に接続されているか否かにより判断している。

【0041】すなわち画像撮影装置11、12は、コイン投入を検知する (ステップS1) と、移動端末4がコネクタ27に挿入されているか否かを判断する (ステッ

プS10)。

【0042】コネクタ27に挿入されていない場合は、図7において、シール印刷の通常受付が行われる (ステップS3)。シール印刷の通常受付が行われると直ちに撮影処理が行われる (ステップS4)。この撮影処理においては、複数のフレーム画像がニール画像でモニタ22に表示される。このうち遊戯者の好みのフレーム画像位置をタッチパネルで選択指示する。

【0043】次いでモニタ22には選択されたフレーム画像が表示され、カメラ21で撮像された遊戯者の像がフレーム画像内に合成表示される。遊戯者は合成画像を確認し、タッチパネルのOKボタンを押下すると、フラッシュ照明ランプ26が点灯して撮影が行われる (ステップS4)。

【0044】撮影が終わると、シール印刷部105で撮影画像が印刷され、シールベンダー部251によりシール吐き出し口25にシールが排出される (ステップS5)。

【0045】一方、ステップS10で、移動端末4がコネクタ27に挿入されていると判断される場合は、画像撮影装置11、12は、移動端末4よりメールアドレスの転送を受ける (ステップS11)。すなわち、移動端末4には、先に説明したように自己の電番とサービスプロバイダ5のURLで構成されるメールアドレスが登録されている。したがって、画像撮影装置11、12は、移動端末4よりかかるメールアドレスを読み出すことが可能である。これにより遊戯者自身がメールアドレスを入力する必要がない。

【0046】ついで、画像撮影装置11、12は、遊戯者に任意のパスワードを入力させる (ステップS12、S13)。

【0047】これにより、先に図4に示した実施例と同様のユーザ登録が完了する。次いで、シール印刷通常受付と同様に撮影が行われる (ステップS4)。

【0048】ついで、画像撮影装置11、12において、先に移動端末4から取得したメールアドレス、遊戯者が入力したパスワード及び撮影した画像を纏めて暗号化する (ステップS14)。

【0049】この暗号化されたデータは、店内のサーバ10に格納される (ステップS15)。サーバ10は、店内に置かれる複数の画像撮影装置11、12からのデータを格納し、所定のタイミングで一括して、データサーバ3にアップロードする (ステップS16)。

【0050】図7においては図示省略されているが、図4におけるステップS9における処理と同様にデータサーバ3では、データベース30の画像指定領域にアップロードされた画像を遊戯者のメールアドレスに対応に格納する。さらに、画像が格納されたURLを先に移動端末4から取得された遊戯者のメールアドレス先に転送する。

【0051】図7において、ケーブル40により移動端末4がコネクタ27に接続されている場合、ステップS4で撮像された画像データを移動端末4に転送し、移動端末4のモニタ42に図6に示したように表示することが可能である。

【0052】ここで、図7においては、移動端末4からメールアドレスを読み出し、このメールアドレス先にデータサーバ3から画像の格納場所の通知を行うように説明した。このように、移動端末4からメールアドレスあるいは、移動端末4に固有の識別番号が読みとれる場合は、これを本人認証用のパスワードとすることも可能である。したがって、遊戯者によるパスワード入力省略し、移動端末4から読み込んだ移動端末4の固有の識別番号を本人認証用のパスワードとすることが可能である。

【0053】なお、図4、図7において、データサーバ3ではアップロードされた画像をユーザ対応に即ち、メールアドレス対応に、専用のホームページを自動作成し、所定期間遊戯者の入力したパスワードでアクセス可能に管理することも可能である。

【0054】また、一のユーザについて複数の画像が格納される場合は、アルバム形式でファイル形成するようにしてもよい。

【0055】また、上記データサーバ3へのアップロードの際は、画像データを移動端末4のモニタの大きさに合わせて撮影画像の縦横比を変更し、あるいは画像を256色に減色することにより効率的な送信が可能である。

【0056】

【発明の効果】以上実施の形態を図面に従い説明したように、本発明により移動端末と画像撮影装置との融合が可能なシステムが形成される。また、画像撮影装置で撮影された画像を移動端末に表示することにより移動端末の個性化をはかることが可能である。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に従う移動端末の画像表示システムの概念を示す図である。

【図2】遊戯施設1内に備えられる画像撮影装置11、12の外観構成例を示す図である。

【図3】外観構成例の画像撮影装置11、12の内部構成ブロック図を示す図である。

【図4】本発明の第一の実施例動作を説明するフロー図である。

【図5】データサーバ3に格納される撮影画像の一例を示す図である。

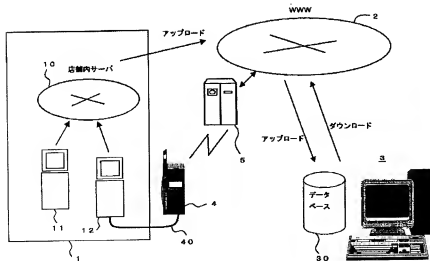
【図6】移動端末4に撮像画像を表示する例を示す図である。

【図7】本発明に従う別の実施例動作フロー図である。

【符号の説明】

- 1 遊戯施設
- 2 インターネット
- 3 データサーバ
- 4 移動端末
- 5 サービスプロバイダ
- 10 店舗内サーバ
- 11、12 画像撮影装置
- 30 データベース
- 40 接続ケーブル

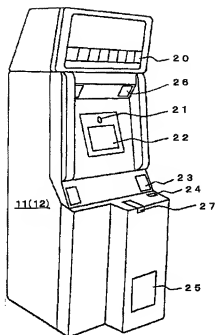
【図1】



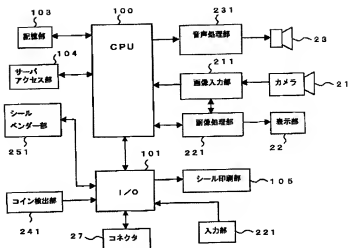
【図5】



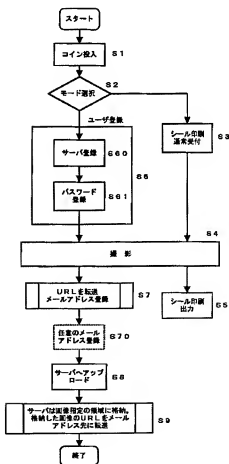
【図2】



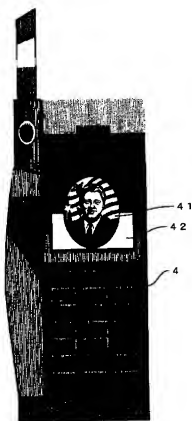
【図3】



【図4】



【図6】



```

graph TD
    Start([スタート]) --> CoinInsert[コイン投入]
    CoinInsert --> S1[S1]
    S1 --> CoinCheck{移動端末挿入有り}
    CoinCheck -- S10 --> S3[シール印刷  
請求発行]
    CoinCheck -- S11 --> MailTransfer[移動端末より  
メールアドレス転送]
    MailTransfer --> PasswordInput[通帳所に設置のパス  
ワード入力させる]
    PasswordInput --> S12[S12]
    S12 --> PasswordCheck{パスワード  
照査}
    PasswordCheck -- S13 --> S4[画面表示]
    PasswordCheck -- S14 --> MailCard[メールアドレス、  
パスワード  
複合画像記録の発行]
    S4 --> S3
    S4 --> S5[シール印刷  
出力]
    MailCard --> S14
    S14 --> S15[店内サーバに  
一斉複製]
    S15 --> S16[サーバに  
アップロード]
    S16 --> End([終了])
  
```

(72)発明者 松林 明  
東京都大田区羽田 1 丁目 2 番12号 株式会  
社セガ・エンタープライゼス内

(72)発明者 内山 雅光  
東京都大田区羽田 1 丁目 2 番12号 株式会  
社セガ・エンタープライゼス内

(72) 発明者 栗野 彰仁  
東京都大田区羽田 1 丁目 2 番 12 号 株式会社セガ・エンタープライゼス内  
F ターム (参考) 5C062 AA01 AA13 AA29 AA37 AB02  
AB17 AB25 AB31 AC02 AC04  
AC05 AC43 AC51 AE08 AF02  
5C064 BA01 BB05 BC18 BC23 BD01  
BD08 BD14  
5K067 AA34 BR04 DD52 FF23